製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

1.1. 製品の特定

製品名：　洗車ボディーシャンプー

製品分類：　洗剤

主な用途：　自動車外装用洗浄剤

１．２　会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー

住所：　〒１８３－００４４　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー

担当部門：　技術部　担当者：

電話番号：　０４２－３５１－００１１　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

e-mail：

改訂日：　２０１５年　３月３日

２ 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分４
急性毒性（経皮）	分類基準に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分２
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分２Ａ
呼吸器・皮膚感作性	分類基準に該当しない
生殖細胞変異原性	分類基準に該当しない
発がん性	分類基準に該当しない
生殖毒性	分類基準に該当しない
標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分３
標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境性有害性	区分３
水生環境慢性有害性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ＧＨＳラベル表示

絵表示またはシンボル

注意喚起語

・警告

危険有害性情報

・飲み込むと有害
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
・水生生物に有害

注意書き

＜取扱い上の注意＞

＊飲用不可　人体に害があるので飲まないこと。
＊使用前にラベルをよく読むこと。
＊すべての説明書きを読み、理解してから使用すること。
＊上記用途以外には使用しないこと。

＊取扱い後手をよく洗うこと。
＊この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
＊保護手袋を着用すること。
＊保護眼鏡／保護面を着用すること。
＊粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
＊屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
＊環境への放出を避けること。
＊他の薬剤と混合させないこと。

---

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物（界面活性剤を含有する混合物）

含有成分及び含有量

成分名	含有量wt%	CAS No.	化審法No	安衛法No	PRTR法	毒劇物法
ＬＡＳ―Ｎａ	２５－３０	25155-30-0	3-1906	非該当	1種30	非該当
グリコール系溶剤	８－１０	56539-66-3	2-3079	非該当	非該当	非該当
金属封鎖剤	非公開	未公開	2-1265	非該当	非該当	非該当
防腐剤	非公開	未公開	未公開	非該当	非該当	非該当
着色剤	非公開	未公開	未公開	非該当	非該当	非該当
精製水	バランス	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号

---

4 応急措置

目に入った場合　：直ちに清浄な流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。
刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合：直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す
刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合　：多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。
呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。
意識のない場合は、口から何も与えてはならない

---

6 火災時の措置

消火剤　該当せず(不燃性)
使ってはならない消火剤　該当せず（不燃性）
消火方法　火事の際は火元から本品を遠ざける。
消火者の保護　適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

---

7 漏出時の措置

人体に対する注意事項　漏出防止、除外などの作業は、必ず、保護具を着用する。
環境に対する注意事項
流出した製品が河川などに排出せれ、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などの浄化の方法
多量の場合　土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗

浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。
少量の場合　ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

＜取扱い上の注意＞

換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。

＜保管上の注意＞

液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける。

9 ばく露防止措置及び保護処置

＜製品の有害性及びばく露濃度基準＞

管理濃度　　設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会　設定されていない
ＡＣＧＩＨ　　設定されていない

組成物の有害性及びばく露濃度基準

原料名	管理濃度	ＡＣＧＩＨ	日本産業衛生学会	その他
ＬＡＳ－Ｎａ	未設定	未設定	未設定	情報無し
グリコール類	未設定	未設定	未設定	情報無し

保護具　　保護眼がね、保護手袋等　有機溶剤用保護マスク
設備対策　　特に必要としない

10 物理及び化学的性質

外観　　赤色透明液体
臭気　　無臭
比重　　１．０４（原液　２０℃）
ｐＨ　　１３　（アルカリ性）
溶解性　　水に易溶
引火点　　無し
爆発限界　　無し
蒸気圧　　約１気圧
可燃性　　燃焼しない
発火点　　発火しない
酸化性　　無し

11 安定性及び反応性

安定性　　通常の取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
避けるべき条件　高温
混融危険物質　　無し
危険有害な分解生成物　無し

12 有害性情報

製品についての有害性情報 無し

ＬＡＳ－Ｎａ

急性毒性
経口　　マウス　ＬＤ５０　　２５００ｍｇ／ｋｇ　飲み込むと有害
飲み込むと有害
皮膚刺激性・腐食性　　１０％では刺激性あり１％では刺激なし
眼に重篤な損傷・刺激性　高濃度では刺激性あり、低濃度（０．０１％）では無刺激
呼吸器感作性または皮膚感作性　モルモット　感作性なし

生態細胞変異原性　認められず
発ガン性　　発がん性を示す報告ない
生殖毒性　　情報無し
その他　　催奇形性　一部認められる報告があるがほとんどの試験では認められず

グリコール類

急性毒性

経口　　ラット　ＬＤ５０　　４３００ｍｇ／ｋｇ
マウス　ＬＤ５０　　５８３０ｍｇ／ｋｇ
マウス　ＬＤ５０　　２０００ｍｇ／ｋｇ　以上

皮膚刺激性・腐食性　一次皮膚刺激性試験（米国環境保護局―EPA－の殺虫剤試験ガイドラインに準拠　　ＰＩＩ指数　０．０４
反復投与（２８日間）皮膚刺激試験
１００％原液　ＰＩＩ指数：０．６（slightly　irritant）
５０％水溶液　ＰＩＩ指数：０．０
ヒトに対する皮膚パッチテスト　４８時間の試験男女ともに陰性

眼に重篤な損傷・刺激性
一次眼刺激試験　（米国環境保護局―EPA－の殺虫剤試験ガイドラインに準拠/ウサギ）やや刺激性はあるが、９～１０日後には回復する。蒸留水で投与３０－６０秒後に洗浄すると刺激性は軽減する

呼吸器感作性または皮膚感作性　モルモット　感作性なし
生態細胞変異原性　Ａｍｅｓ試験　陰性
発ガン性　　情報無し
生殖毒性　　（妊娠６～１６日の器官形成期に投与／ＦＤＡ法に準拠）
胚・胎児　　最大無作用量：５００ｍｇ/ｋｇ－rat/day
母動物　　最大無作用量：２５０ｍｇ/ｋｇ－rat/day
催奇形性は認められず

その他　　情報無し

---

13 環境影響情報

製品についての有害性　情報無し

ＬＡＳ－Ｎａ

水生環境急性有害性　水生生物毒性　魚毒性　ＬＣ50　４～１１ｍｇ/Ｌ：ヒメダカ４８Ｈ
水生環境慢性有害　　情報なし
残留性・分解性　　好気条件下では分解されるが嫌気条件下ではほとんど分解されない
生体蓄積性　　情報なし
土壌中の移動性　　情報なし
オゾン層有害性　　情報なし

グリコール系溶剤

水生環境急性有害性　魚毒性　　ヒメダカ４８ｈ　ＴＬｍ値：７４００ｐｐｍ
水生環境慢性有害　　情報なし
残留性・分解性　　生分解性の良い物質とされる
生体蓄積性　　魚類への蓄積性はない（コイ/４８時間）
土壌中の移動性　　情報なし
オゾン層有害性　　情報なし
その他　　ＣＯＤ：８０６０ｍｇ/Ｌ（１％水溶液）
８０２０ｍｇ/Ｌ（エア吹込後：１．５L/minで１６ｈｒ通気）

---

14 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
排水処理により発生した廃棄物についても　廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

１５輸送上の注意

陸上輸送：取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送：航空法に定めるところに従う。
注意事項：運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、
荷崩れの防止を完全に行う。

---

16 適用法令

消防法	該当せず
労働安全衛生法	該当せず
毒物及び劇物取締法	該当せず
ＰＲＴＲ法	第１種指定化学物質　アルキルベンゼンスルホン酸塩
海洋汚染防止法	施行令別表第１　有害液体物質　アルキルベンゼンスルホン酸塩

---

17 その他の情報

引用文献

・GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト
中央労働災害防止協会
・15107 の化学商品　化学工業日報社
・製品安全データシート　各社
・化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）改訂４版　国際連合

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により
改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものでは有りません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販三重
所在地：四日市市日永5丁目1番3号
TEL:0593-46-1221